

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

腰椎後方除圧固定術を施行した患者の在院日数に影響を及ぼす因子の調査に関する研究

1. 研究の対象

2020年9月1日から2020年12月28日までの間に、当院の整形外科で腰部脊柱管狭窄症及び腰椎すべり症に対して腰椎後方除圧固定術を受けられた方です。(20歳以下は対象外とします)

2. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、腰椎後方除圧固定術を施行した患者の在院日数に影響を及ぼす因子について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において腰椎後方除圧術の治療を受けられた方で、在院日数に関する分析を行い、早期退院を阻害する因子について調べます。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：年齢、性別、手術以外の基礎疾患(有・無)、手術後の合併症(有・無)、術前のADL(車椅子・杖・独歩)、手術後から初回離床までの日数、家族構成(単独世帯・核家族世帯)等

・ 試料：なし

4. 情報の提供先・提供方法

外部への情報提供はありません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの直接的な資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：8931）

研究責任者 付属病院看護部 9B 病棟看護師 武田 咲良

問い合わせ担当者 付属病院看護部 9B 病棟看護師 武田 咲良